



【AWS Black Belt Online Seminar】

働き方改革を実現する

AWSのエンドユーザーコンピューティングサービス

アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社
ソリューションアーキテクト 大井 友三

2018.03.06

自己紹介

大井 友三（おおい ゆうぞう）

お仕事：ソリューションアーキテクト

- 元 AWS サポートのサポートエンジニア
- 国産Sier でプログラマ → 外資系ハードウェアベンダーで Microsoft系ソリューション（主に仮想化）のエンジニア → AWS
- 好きな AWS のサービス
 - Work*系サービス
 - Amazon Elastic Transcoder
 - AWS サポート



内容についての注意点

- 本資料では2018年3月6日時点のサービス内容および価格についてご説明しています。最新の情報はAWS公式ウェブサイト(<http://aws.amazon.com>)にてご確認ください。
- 資料作成には十分注意しておりますが、資料内の価格とAWS公式ウェブサイト記載の価格に相違があった場合、AWS公式ウェブサイトの価格を優先とさせていただきます。
- 価格は税抜表記となっております。日本居住者のお客様が東京リージョンを使用する場合、別途消費税をご請求させていただきます。
- AWS does not offer binding price quotes. AWS pricing is publicly available and is subject to change in accordance with the AWS Customer Agreement available at <http://aws.amazon.com/agreement/>. Any pricing information included in this document is provided only as an estimate of usage charges for AWS services based on certain information that you have provided. Monthly charges will be based on your actual use of AWS services, and may vary from the estimates provided.

Agenda

- 働き方改革の提言
- 働き方改革を支援する AWS のサービス
- ユースケース
- まとめ

働き方改革の提言

「働き方改革実行計画」が策定

- 政府主導で2016年9月に働き方改革実現推進室が設置
- 2017年3月に実行計画が会議決定

1. 働く人の視点に立った働き方改革の意図

(1) 経済社会の現状

4年間のアベノミクス（大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略）は、大きな成果を生み出した。名目 GDP は 47 兆円増加し、9%成長した。長らく言葉すら忘れられていたベースアップが4年連続で実現しつつある。有効求人倍率は 25 年ぶりの高い水準となり、史上初めて 47 全ての都道府県で1倍を超えた。正規雇用も一昨年増加に転じ、26 か月連続で前年を上回る勢いである。格差を示す指標である相対的貧困率が足元で減少しており、特に調査開始以来一貫して増加していた子供の相対的貧困率は初めて減少に転じた。日本経済はデフレ脱却が見えてきており、実質賃金は増加傾向にある。

他方、個人消費や設備投資といった民需は、持ち直しつつあるものの、足踏みがみられる。我が国の経済成長の 隘路 の根本には、少子高齢化、生産年齢人口減少すなわち人口問題という構造的な問題に加え、イノベーションの欠けによる生産性向上の低迷、革新的技術への投資不足がある。日本経済の再生を実現するためには、投資やイノベーションの促進を通じた付加価値生産性の向上と、労働参加率の向上を図る必要がある。そのためには、誰もが生きがいを持って、その能力を最大限発揮できる社会を創ることが必要である。一億総活躍の明るい未来を切り拓くことができれば、少子高齢化に伴う様々な課題も克服可能となる。家庭環境や事情は、人それぞれ異なる。何かをやりたいと願っても、画一的な労働制度、保育や介護との両立困難など様々な壁が立ちちはだかる。こうした壁を一つひとつ取り除く。これが、一億総活躍の国創りである。

(2) 今後の取組の基本的考え方

日本経済再生に向けて、最大のチャレンジは働き方改革である。「働き方」は「暮らし方」そのものであり、働き方改革は、日本の企業文化、日本人のライフスタイル、日本の働くということに対する考え方そのものに手を付けていく改革である。多くの人々が、働き方改革を進めていくことは、人々のワーク・ライフ・バランスにとっても、生産性にとっても好ましいと認識しながら、これまでトータルな形で本格的改革に着手することができてこなかっ

「経済社会の現状」 (抜粋)

1. 経済成長の隘路（あいろ）の根本は、人口問題という構造的な問題に加え、イノベーションの欠如による生産性向上の低迷、革新的技術への投資不足。
2. 日本経済の再生を実現するためには、投資やイノベーションの促進を通じた付加価値生産性の向上と、労働参加率の向上を図ることが必要。

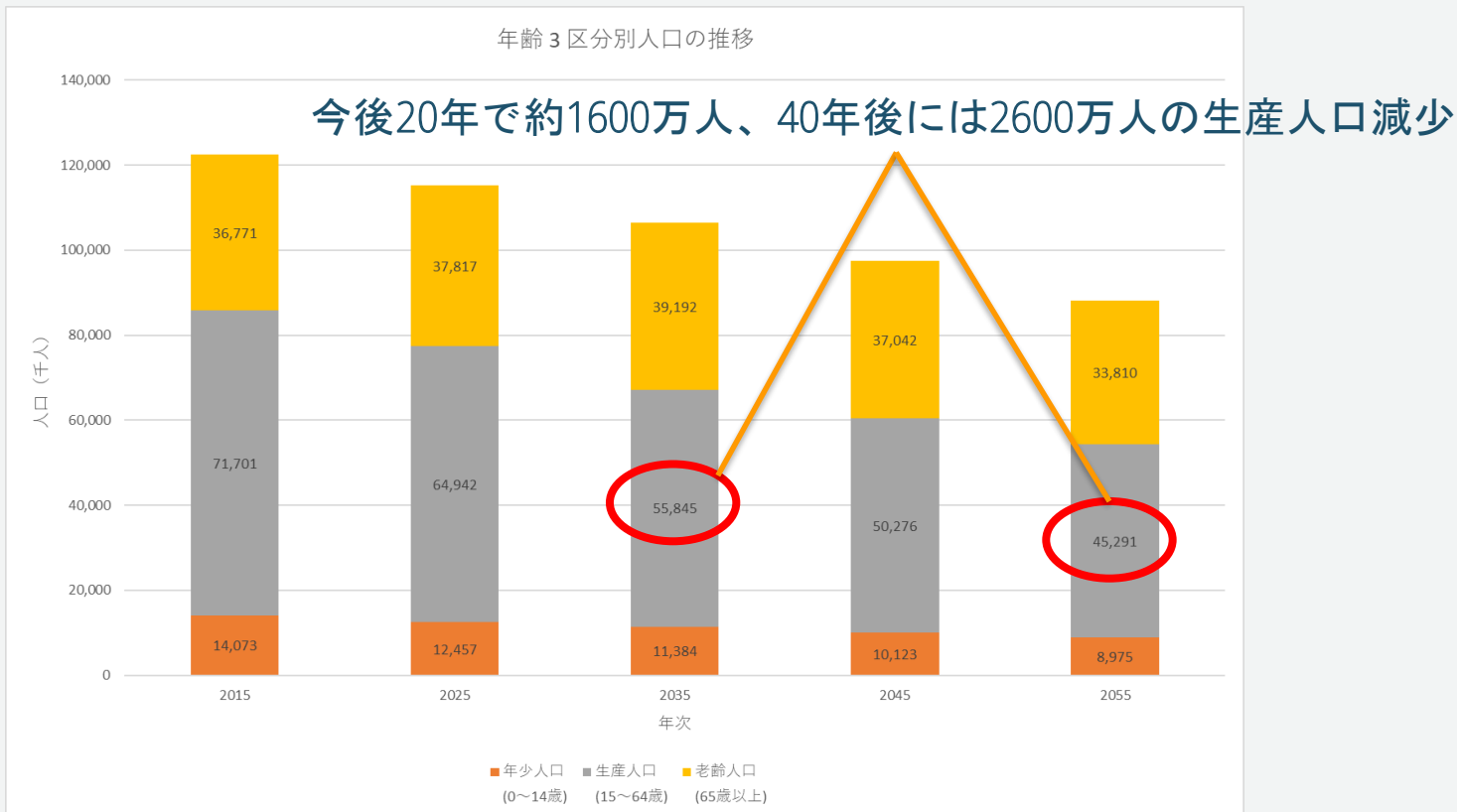
出典：「働き方改革実行計画（概要）」首相官邸ホームページより
<http://www.kantei.go.jp/jp/headline/pdf/20170328/05.pdf>

「経済社会の現状」 (抜粋)

1. 経済成長の隘路 (あいろ) の根本は、**人口問題**という構造的な問題に加え、イノベーションの欠如による**生産性向上の低迷**、革新的技術への投資不足。
2. 日本経済の再生を実現するためには、投資やイノベーションの促進を通じた付加価値生産性の向上と、**労働参加率の向上**を図ることが必要。

出典：「働き方改革実行計画 (概要)」首相官邸ホームページより
<http://www.kantei.go.jp/jp/headline/pdf/20170328/05.pdf>

生産年齢人口の推移

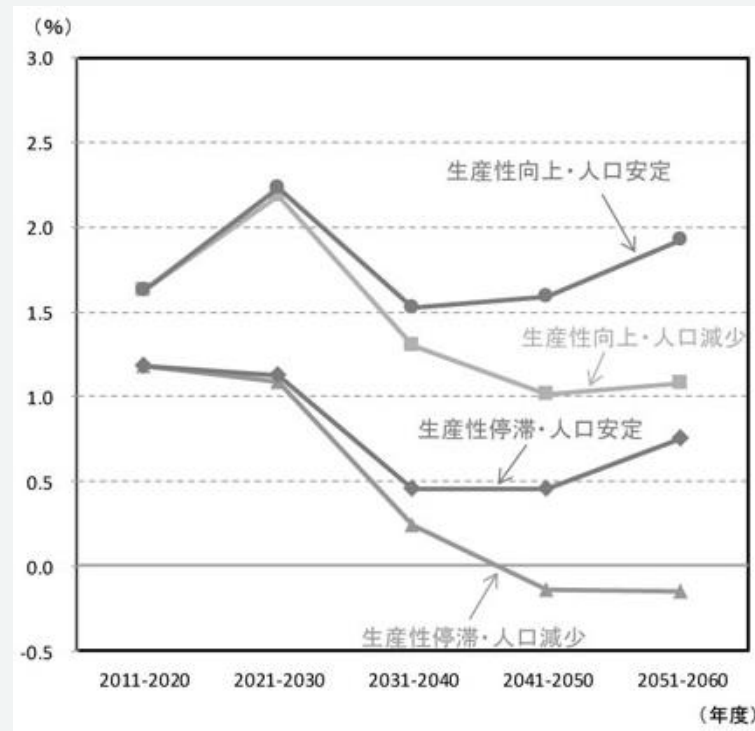


生産性と人口の推移によるGDPへの影響

- 生産性の停滞と人口減少が重なった場合、約30年後にはGDPがマイナス成長に陥る可能性



少ない働き手での
生産性向上が急務



日本の労働制度と働き方にある課題

日本の労働制度と働き方にある課題

**正規、非正規の
不合理な処遇の差** = 正当な処遇がなされていないという気持ちを「非正規」労働者に起こさせ、
頑張ろうという意欲をなくす。

世の中から
「非正規」という言葉
を一扫していく

正規と非正規の理由なき格差を埋めていけば、自分の能力を評価されている納得感が醸成。納得感は労働者が働くモチベーションを誘引するインセンティブとして重要、それによって労働生産性が向上していく。

長時間労働 = 健康の確保だけでなく、仕事と家庭生活との両立を困難にし、少子化の
原因や、女性のキャリア形成を阻む原因、男性の家庭参加を阻む原因。

長時間労働を自慢
するかのような風潮が
蔓延・常識化している
現状を変えていく

長時間労働を是正すれば、ワーク・ライフ・バランスが改善し、女性や高齢者も仕事に就きやすくなり、労働参加率の向上に結びつく。経営者は、どのように働いてもらうかに関心を高め、単位時間（マンアワー）当たりの労働生産性向上につながる。

**単線型の
日本のキャリアパス** = ライフステージに合った仕事の仕方を選択しにくい。

単線型の
日本のキャリアパス
を変えていく

転職が不利にならない柔軟な労働市場や企業慣行を確立すれば、自分に合った働き方を選択して自らキャリアを設計可能に。付加価値の高い産業への転職・再就職を通じて国全体の生産性の向上にも寄与。

働き方改革の提言

非正規雇用の処遇改善

賃金引き上げと労働生産性向上

長時間労働の是正

柔軟な働き方がしやすい環境整備

病気の治療、子育て・介護などと仕事の両立、
障がい者就労の推進

外国人材の受け入れ

女性・若者が活躍しやすい環境整備

雇用吸収力の高い産業への転職・再就職支援、
人材育成、格差を固定化させない教育の充実

高齢者の就業促進

出典：働き方改革実現会議「働き方改革実行計画（工程表）」
<http://www.kantei.go.jp/jp/headline/pdf/20170328/02.pdf>



超長寿社会の到来

2007年に日本に生まれた
子どもの50%は107歳まで生きる

教育のステージ

仕事のステージ

引退のステージ



マルチステージ



柔軟な働き方がますます求められるようになる

働き方改革の提言

非正規雇用の処遇改善

賃金引き上げと労働生産性向上

長時間労働の是正

柔軟な働き方がしやすい環境整備

病気の治療、子育て・介護などと仕事の両立、
障がい者就労の推進

外国人材の受け入れ

女性・若者が活躍しやすい環境整備

雇用吸収力の高い産業への転職・再就職支援、
人材育成、格差を固定化させない教育の充実

高齢者の就業促進

出典：働き方改革実現会議「働き方改革実行計画（工程表）」
<http://www.kantei.go.jp/jp/headline/pdf/20170328/02.pdf>

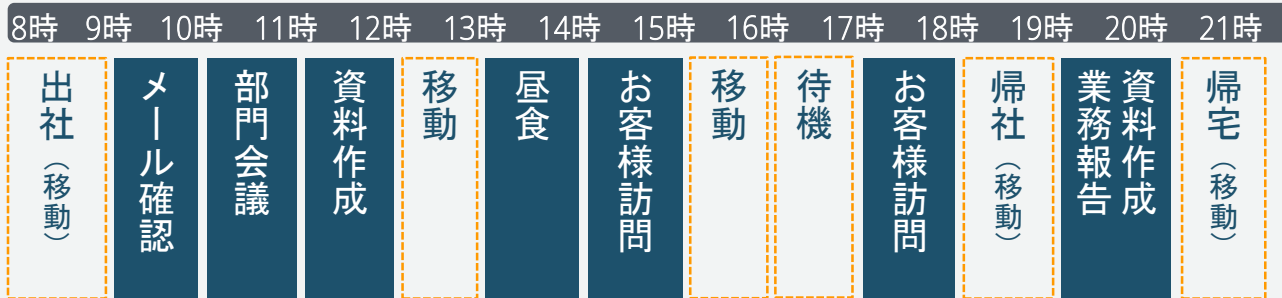


業務シーン - ①移動時間の多さに課題



法人営業

1日のスケジュール



セキュリティ上の理由でPCの持ち出し不可

出社しないとメールが読めない
会議資料は社外で見られない

帰社しないと資料作成できない

業務シーン - ②子育てとの両立に懸念



育児中の
エンジニア

在宅勤務環境が整備
されていない会社の
ため、仕事を続ける
か迷っている

1日のスケジュール

6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	
朝食準備	朝食	保育園送り出し	出社 (移動)	部門会議	業務	昼食		業務			帰宅 (移動)	保育園お迎え	夕食準備	夕食	お風呂	寝かしつけ

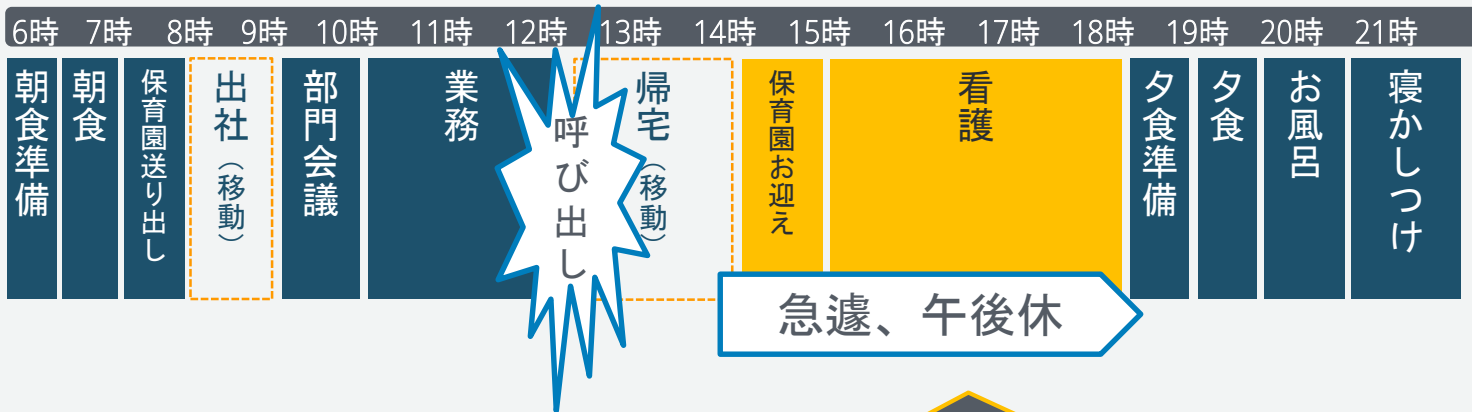
業務シーン - ②子育てとの両立に懸念



育児中の
エンジニア

在宅勤務環境が整備
されていない会社の
ため、仕事を続ける
か迷っている

1日のスケジュール



急遽、午後休

業務を残したまま、帰宅
翌日への積み残し

業務シーン - ③付帯業務の多さ

売り上げや利益に直結しないにも関わらず、「その作業」を行うために

- パソコンやモバイルを操作
- 限られた広さの画面の中を占有
- その情報を得るための時間もったいないと感じる
- 単純作業にも関わらず、その結果を得るために試行錯誤する必要がある



ストレスの蓄積



ソリューション案とベネフィット

働き方を柔軟
にすることで
本来の業務に
集中する

いつでも

常に利用可能な業務環境

どこでも

場所を問わない業務環境

誰とでも

容易なコミュニケーションと
コラボレーション

気軽に

付帯業務の負荷が低減される
環境づくり

生産性
向上

移動・待機
時間の有効活用



ダイバー
シティ実現

子育て・介護との両立
障害者・高齢者
の雇用



働き方改革を支援する AWS のサービス

ソリューション案とベネフィット

常に利用可能な業務環境

場所を問わない業務環境

容易なコミュニケーションと
コラボレーション

付帯業務の負荷が低減される
環境づくり





AWSで稼働するフルマネージド型でセキュアな仮想クラウドデスクトップサービス

Amazon WorkSpaces によってもたらされるもの

働き方改革の課題

- 施策の実現に初期投資が伴う
- セキュリティリスクと利便性のジレンマ
- 導入効果の図り方の難しさ



WorkSpaces のベネフィット

- いつでも始められ、合わなければいつでも止められる
- セキュリティと利便性のバランス
- 利用者のニーズに沿ったスペックを容易に準備



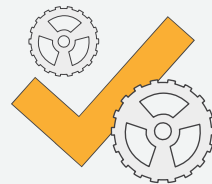
Amazon WorkSpaces – マネージド型クラウドデスクトップ



セキュア



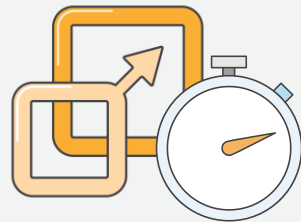
高度にインタラクティブで使いやすい
セキュアなデスクトップ



シンプルなデプロイと
管理



従量課金



スケール&パフォーマンス

使いやすいデスクトップエクスペリエンス



ポータブルな
デスクトップ



どんなデバイスでも
利用可能



一貫性のある
パフォーマンス



適切なBYODポリシーは従業員の生産性を向上させ、ITサポートの問題を減らす可能性を4倍高めます※

※Enterprise Strategy Group: TechTruths: BYOD and Productivity, 2015

© 2018, Amazon Web Services, Inc. or its Affiliates. All rights reserved.



いつでも始められる、何でも試せる



初期投資不要、今日から、1台から始められる
(最大40時間の無料利用枠)



試した上で、いつでもやめられる



段階的に増やしていける (事前サイジング不要)



グローバル展開も容易



月額課金 or 時間課金

セキュリティの向上



エンドユーザーの
デバイスに機密
データを残さない



WorkSpacesのデータ
を暗号化して保管

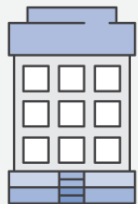


転送中のデスクトップ
ストリームを暗号化



Amazon WorkSpacesはデータとストリームを暗号化し、デバイスに情報を残しません

既存のツールとの統合



イントラネット



Microsoft Active Directory



多要素認証 (RADIUS)



SCCM

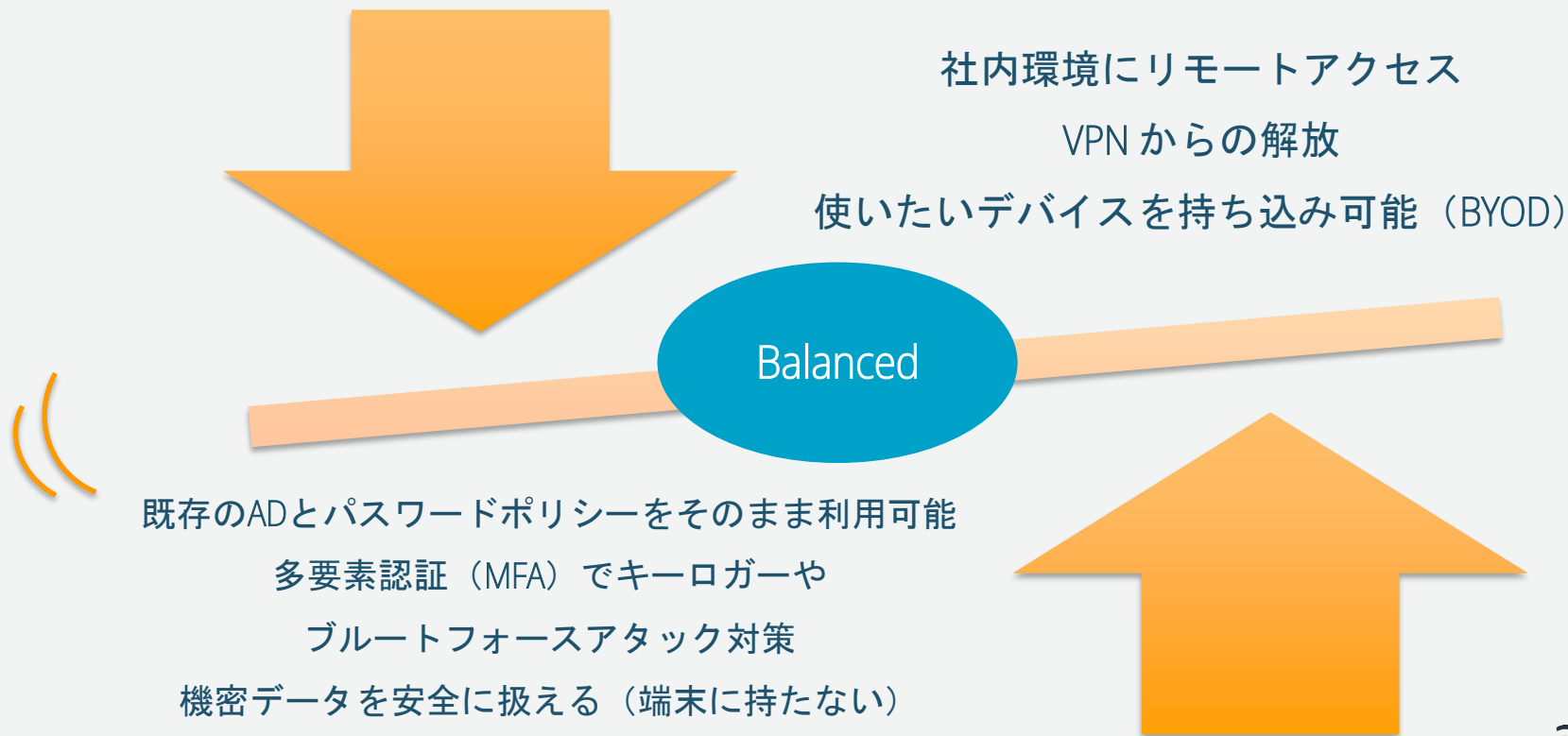


認証局



Amazon WorkSpacesはオンプレミスのツールとネットワークと容易に統合できます

セキュリティと利便性のバランス



用途に応じた Amazon WorkSpaces の活用

無料利用枠

2 vCPU
4 GiB メモリ
80 GB ルートボ
リューム
50 GB ユーザー
ストレージ

無料

最大2 WorkSpaces

40 時間/月 合計利
用時間

2ヶ月間

バリュー

1 vCPU
2 GiB メモリ
80 GB ルートボ
リューム
10 GB ユーザー
ストレージ

月額料金

\$34/月

時間料金

\$10.00/月 +
\$0.30/時

スタンダード

2 vCPU
4 GiB メモリ
80 GB ルートボ
リューム
50 GB ユーザー
ストレージ

月額料金

\$47/月

時間料金

\$14.00/月 +
\$0.40/時

パフォーマンス

2 vCPU
7.5 GiB メモリ
80 GB ルートボ
リューム
100 GB ユー
ザーストレ
ージ

月額料金

\$78/月

時間料金

\$19.00/月 +
\$0.74/時

パワー

4 vCPU
16 GiB メモリ
175 GB ルート
ボリューム
100 GB ユー
ザーストレ
ージ

月額料金

\$118/月

時間料金

\$26.00/月 +
\$0.89/時

グラフィックス

8 vCPU
15 GiB メモリ
100 GB ルート
ボリューム
100 GB ユー
ザーストレ
ージ
1 vGPU
4 GiB ビデオメ
モリ

月額料金

--

時間料金

\$30.00/月 +
\$2.41/時

PlusアプリケーションバンドルでTrend MicroおよびMicrosoft Office Professionalを追加 - \$15/月

アジアパシフィック (東京)の2017/9時点の価格 - BYOLで\$4削減

用途に応じた Amazon WorkSpaces の活用

無料利用枠

2 vCPU
4 GiB メモリ
80 GB ルートボ
リューム
50 GB ユーザー
ストレージ

無料

最大2 WorkSpaces

40 時間/月 合計利
用時間

2ヶ月間

バリュー

1 vCPU
2 GiB メモリ
80 GB ルートボ
リューム
10 GB ユーザー
ストレージ

月額料金

\$34/月

時間料金

\$10.00/月 +
\$0.30/時

スタンダード

2 vCPU
4 GiB メモリ
80 GB ルートボ
リューム
50 GB ユーザー
ストレージ

月額料金

\$47/月

時間料金

\$14.00/月 +
\$0.40/時

パフォーマンス

2 vCPU
7.5 GiB メモリ
80 GB ルートボ
リューム
100 GB ユー
ザーストレ
ージ

月額料金

\$78/月

時間料金

\$19.00/月 +
\$0.74/時

パワー

4 vCPU
16 GiB メモリ
175 GB ルート
ボリューム
100 GB ユー
ザーストレ
ージ

月額料金

\$118/月

時間料金

\$26.00/月 +
\$0.89/時

グラフィックス

8 vCPU
15 GiB メモリ
100 GB ルート
ボリューム
100 GB ユー
ザーストレ
ージ
1 vGPU
4 GiB ビデオメ
モリ

月額料金

--

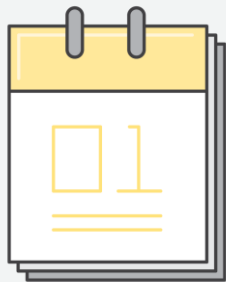
時間料金

\$30.00/月 +
\$2.41/時

PlusアプリケーションバンドルでTrend MicroおよびMicrosoft Office Professionalを追加 - \$15/月

アジアパシフィック (東京)の2018/03/06 時点の価格 - BYOLで\$4削減

柔軟な課金オプション



Monthly

主な用途

- フルタイムの従業員
- AWS料金のシンプルさ
- いつでもアクセス
- 日常業務



Hourly

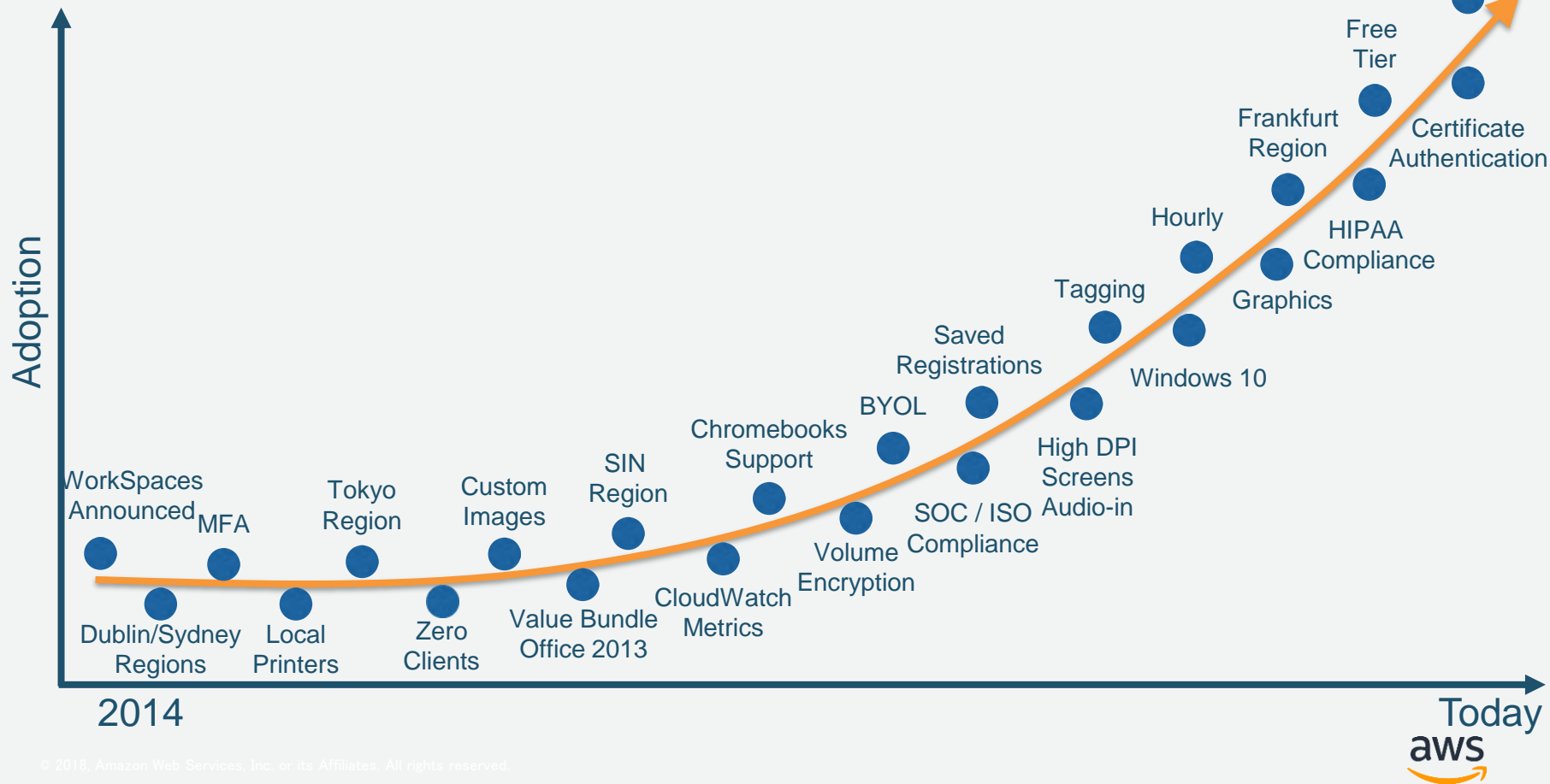
主な用途

- パートタイムの従業員
- AWS料金の最適化
- クイックにアクセス
- 一時的なタスクの実行

グローバルなカバレッジ



継続的なイノベーション



Amazon WorkSpaces 導入のベストプラクティス

- 検討しつつ、まずは**検証**
 - 疑問が生じたらその場で立ち上げて動作確認し、終わったら止める
- 初期段階で以下の項目を検討
 - 試すべき**アプリ**の棚卸し
 - 準拠すべき**セキュリティルール**
 - BYOLの必要有無、可否
 - **端末**の対応可否

1台でPoC

アプリ検証

詳細設計と運用設計

見直し

ユースケース調査、BYOL依頼

準本番スケールでPoC

パイロット展開

本番展開

Amazon WorkSpacesのユースケース



データのセキュア化



コンプライアンス要件



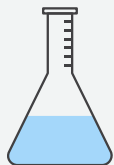
モバイルワーカー



派遣社員



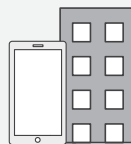
BYOD



開発とテスト



合併と買収



コールセンター



トレーニングとラボ



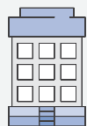
デモ

alexa for business

ビジネスユースでのインテリジェントな音声アシスタントの活用

※本日3/6時点で英語のみの対応となっておりますのでご了承ください

Alexa for Business



スマートなオフィス環境

会議室

倉庫

受付



生産性向上

電話

スケジュール管理

3rd パーティアプリケーション



集中管理

デバイスの展開や管理

ユーザーの管理

プライベートスキル

オフィス環境での音声アシスタントとして活用

アレクサ、〇〇さんの席を教えて

アレクサ、プリンタの修理を手配して

アレクサ、タクシーを呼んで

アレクサ、部屋の温度を26度に設定して

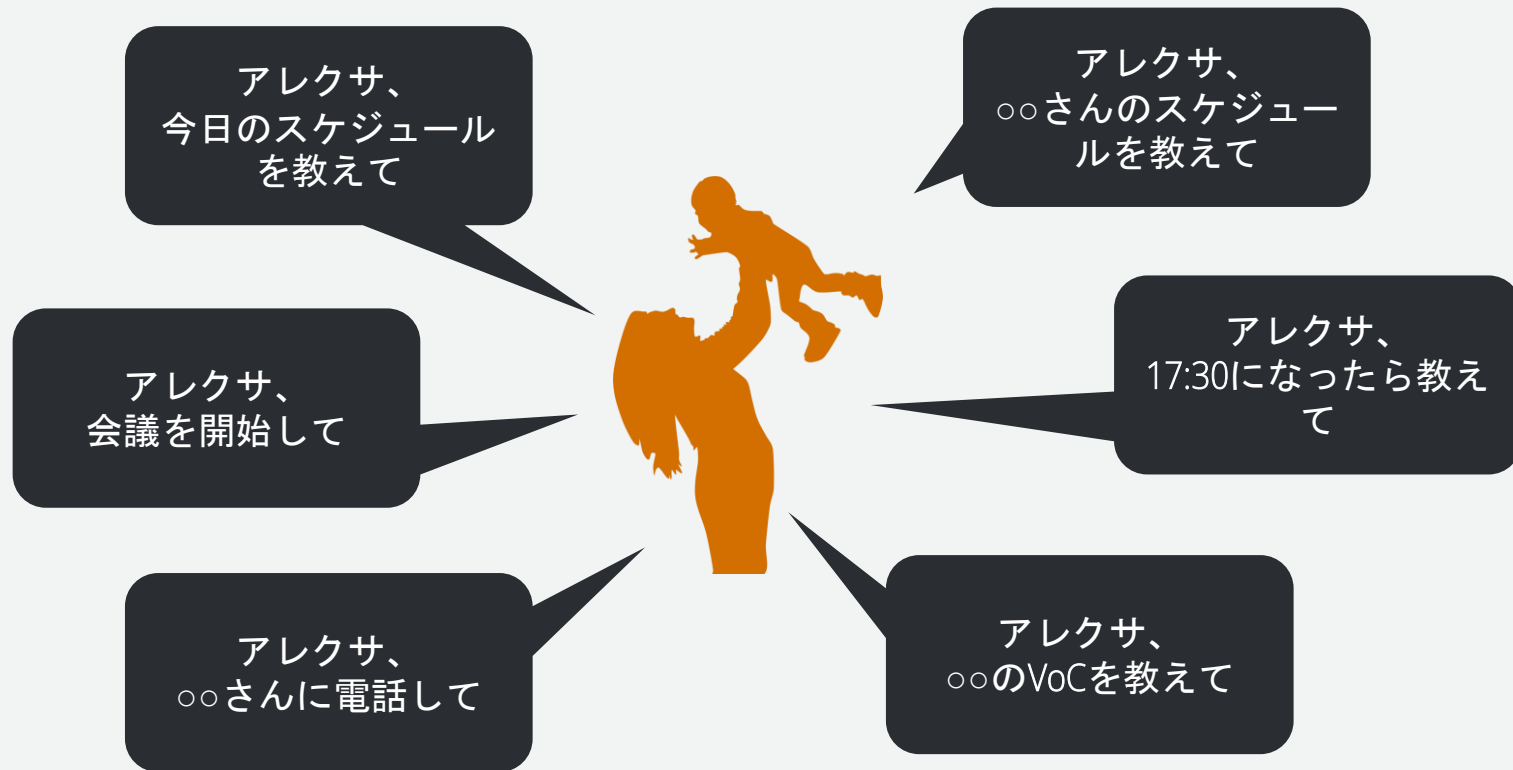
アレクサ、〇〇さんを呼んで

アレクサ、在庫状況を確認して

アレクサ、スクリーン前だけ照明を消して

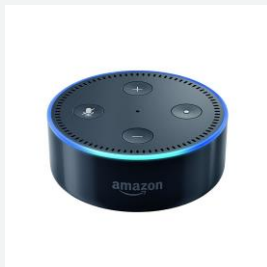
アレクサ、会議室を予約して

Alexa を自宅で音声アシスタントとして活用

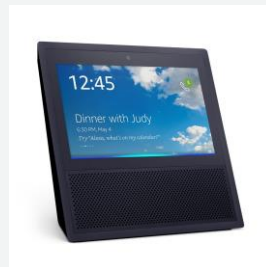


利用可能なデバイス

Shared Device としての利用可



Personal Device としての利用可



Alexa-enabled Device

オンラインミーティング

下記のサービス、アプリケーションと連携したオンラインミーティングが可能



カレンダーの連携

下記のサービス、アプリケーションのカレンダーと連携可能



G Suite



Office365



Exchange Server

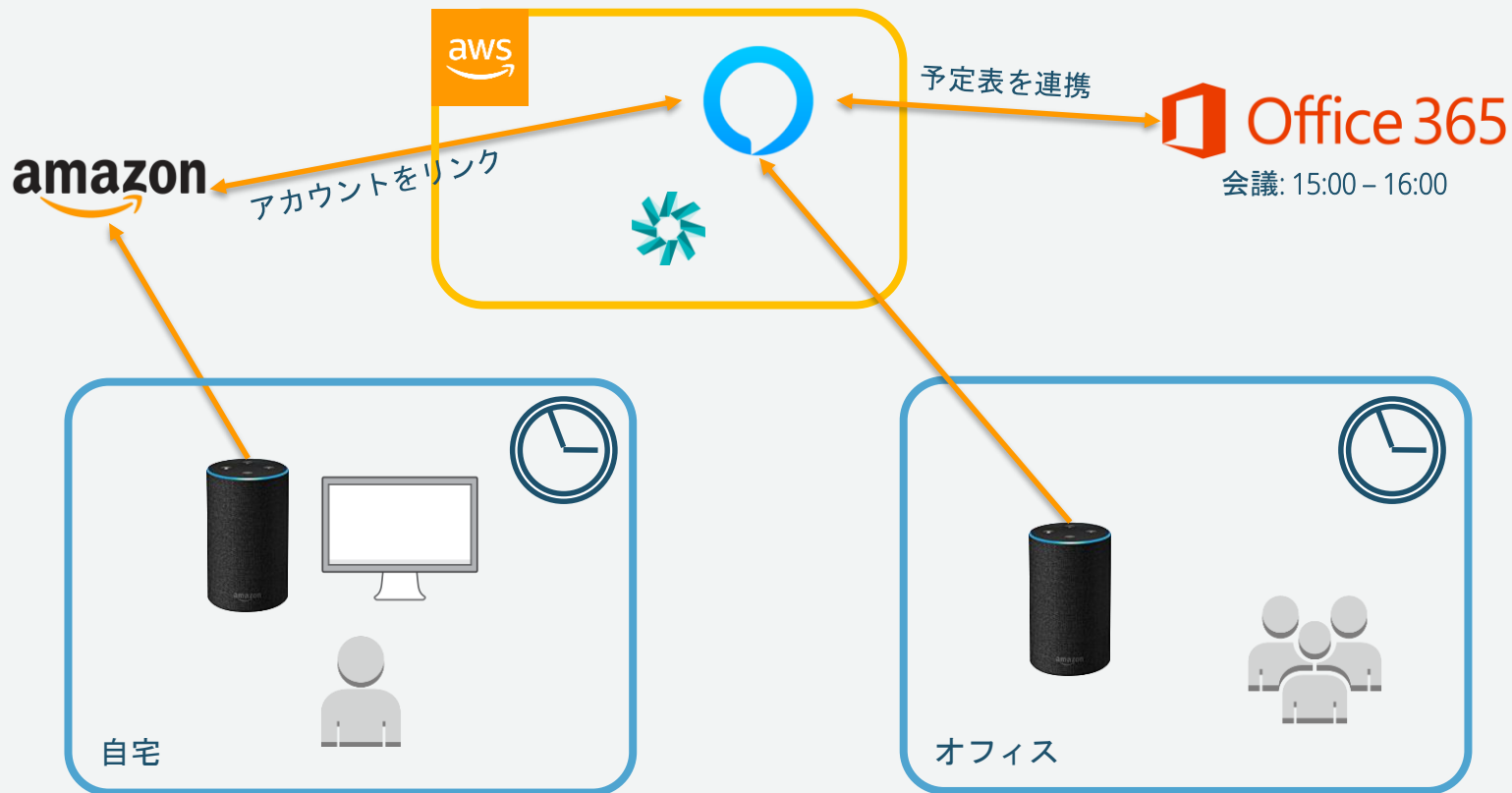


プライベートスキルの構築

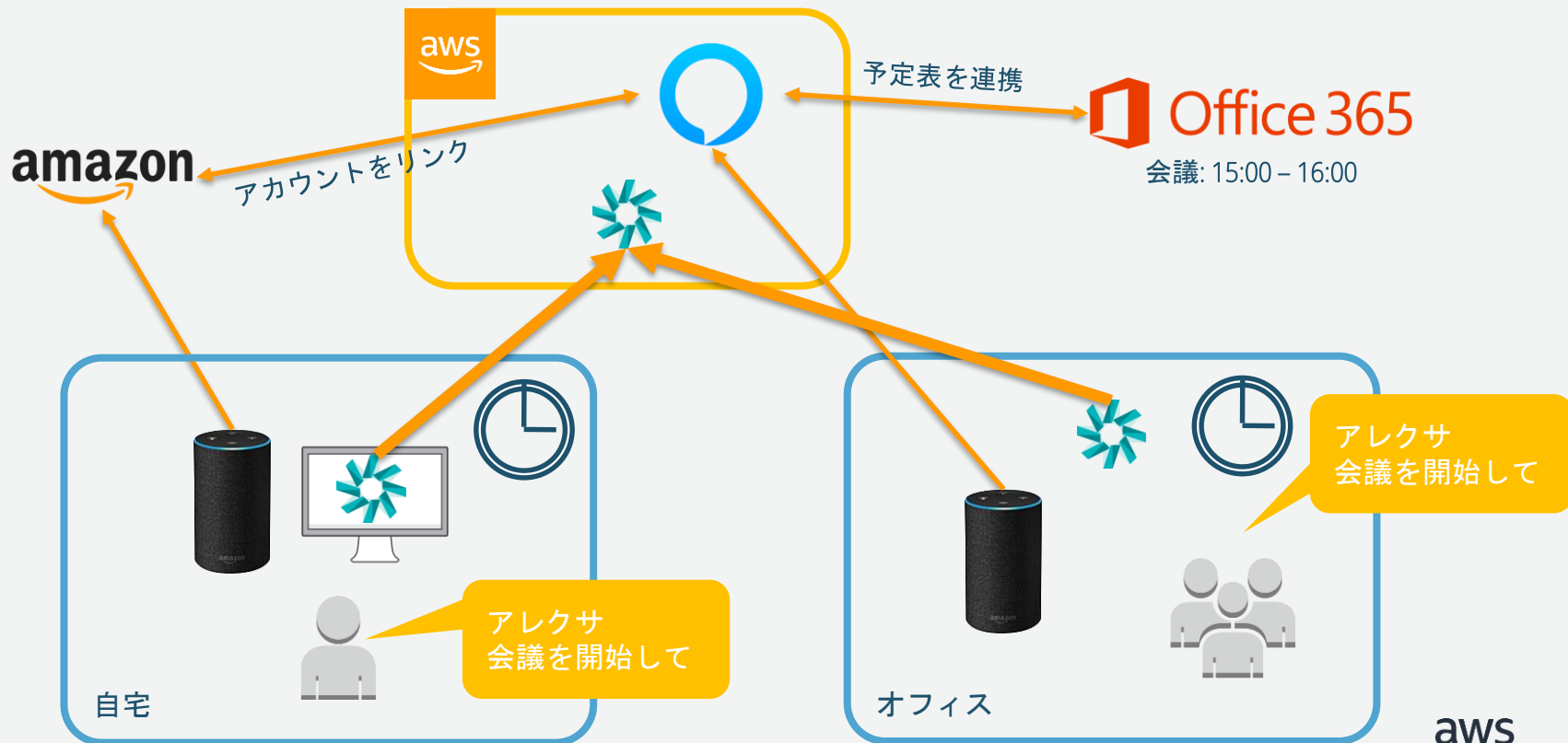
- Alexaでは、音声により「電車の運行情報を知りたい」や「天気を教えて」「電気をつけて」などを伝えて答えを返したり操作したりという動作をさせるために「スキル」と呼ばれるバックグラウンドの仕組みを利用します。
- Alexaでは作成したスキルは公開スキルとして、様々な方が再利用できるようになっています
- Alexa for business では所定の業務を行うためにスキルを限られた範囲に閉じる「プライベートスキル」を構築することができます



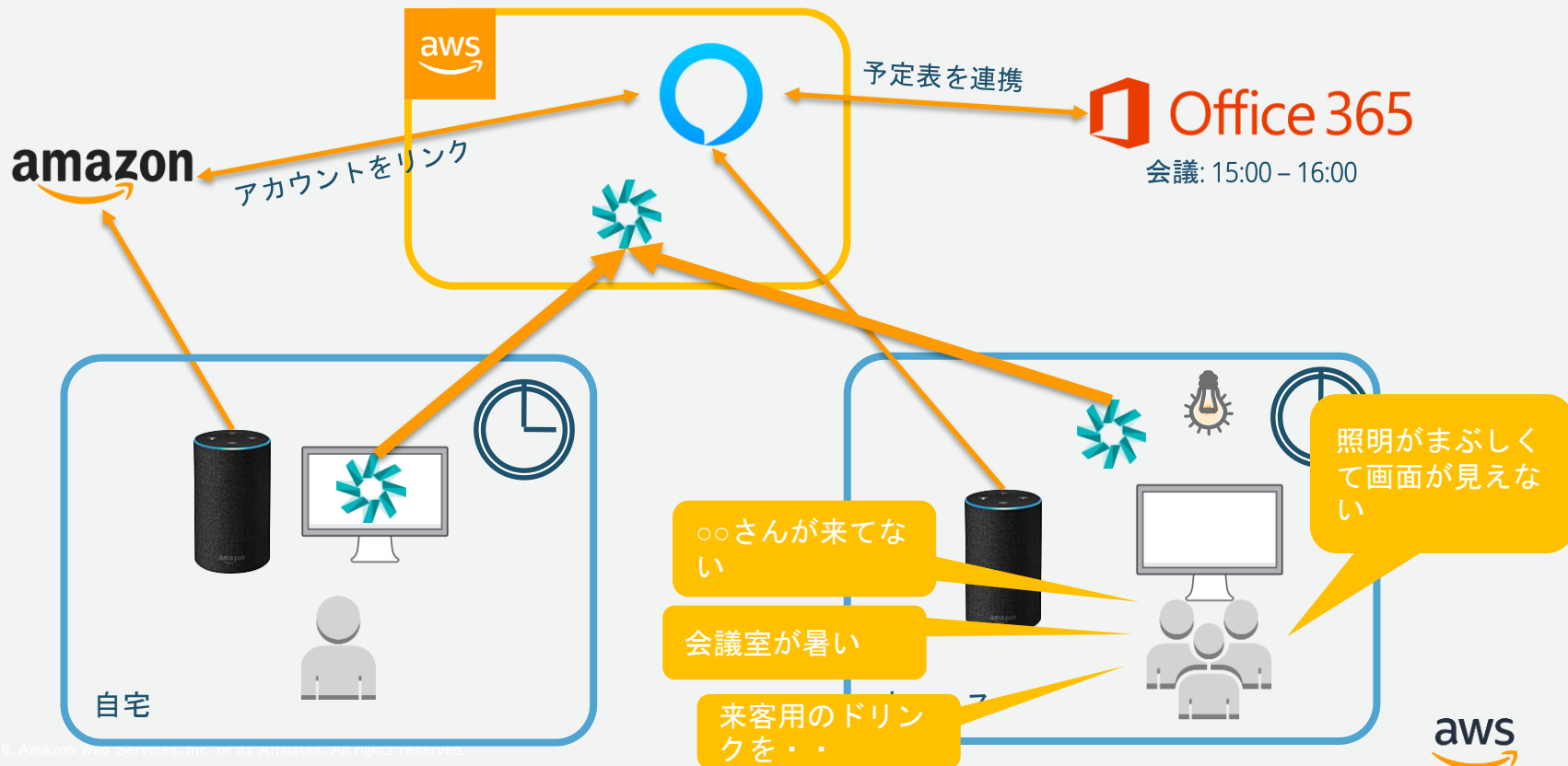
Alexa for business によるオンラインミーティング



Alexa for business による会議開催



Alexa for business による会議開催



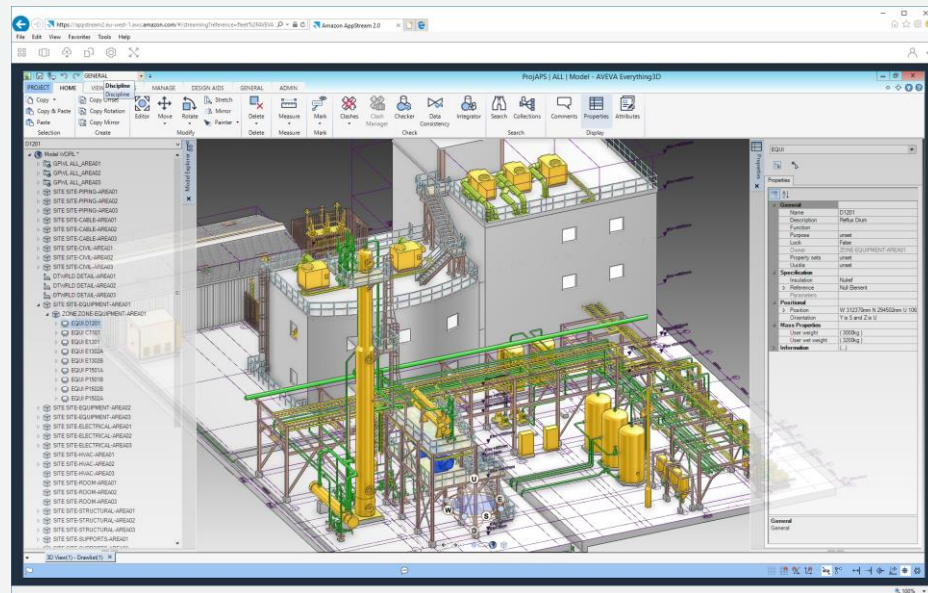
料金

- 共有デバイス
 - 1デバイスあたり月額7USD
 - 登録されたユーザー
 - 1ユーザーあたり月額3USD
- ※登録されたユーザーにはデバイス数の制限はありません

その他のアプリケーションサービス

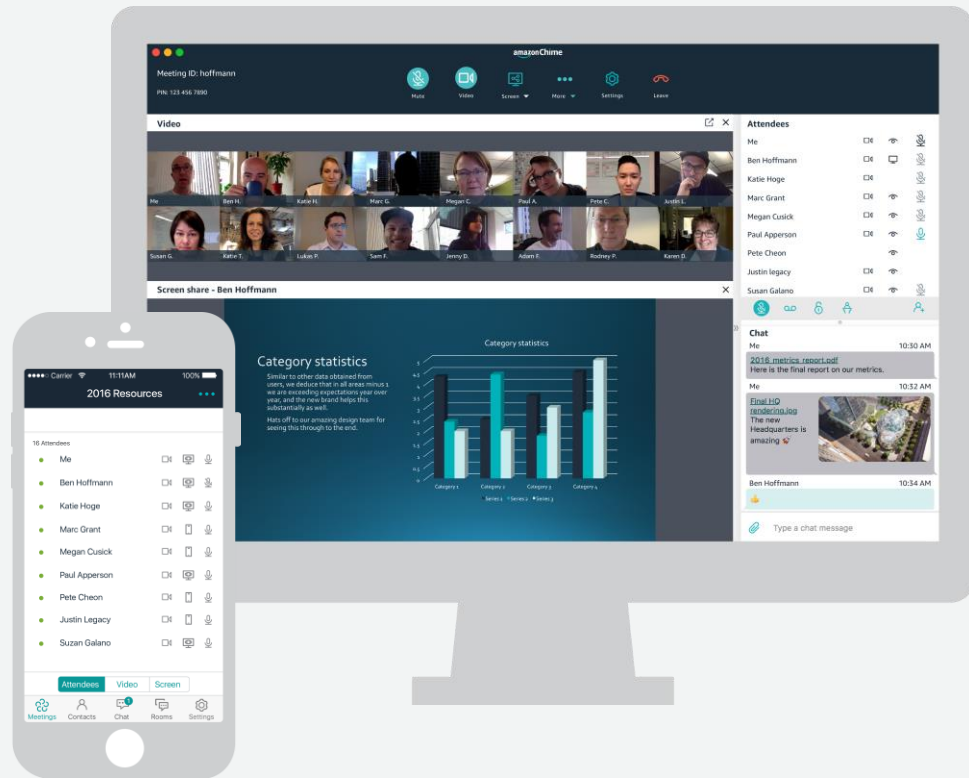
amazon AppStream 2.0

- ブラウザ経由(HTTPS)でのアプリケーションの利用
- Microsoft Officeなどのビジネスアプリケーションだけではなく、グラフィクスを駆使するCADなどでもご利用いただけるインスタンスプロファイルもご用意
- Active Directoryとも連携可能
- オプションの利用で、永続的なストレージへのデータ格納
- USBマイクやスピーカーにも対応

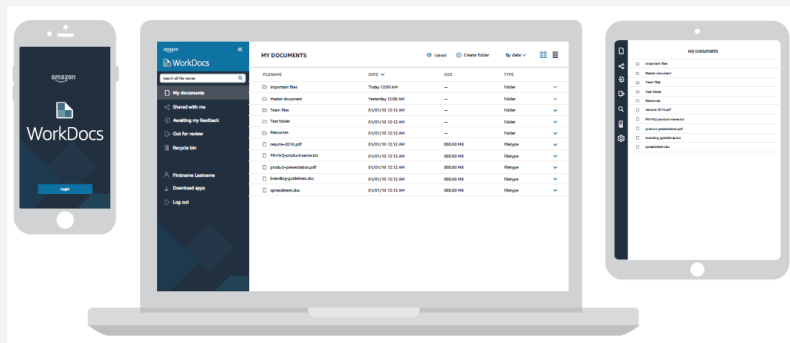




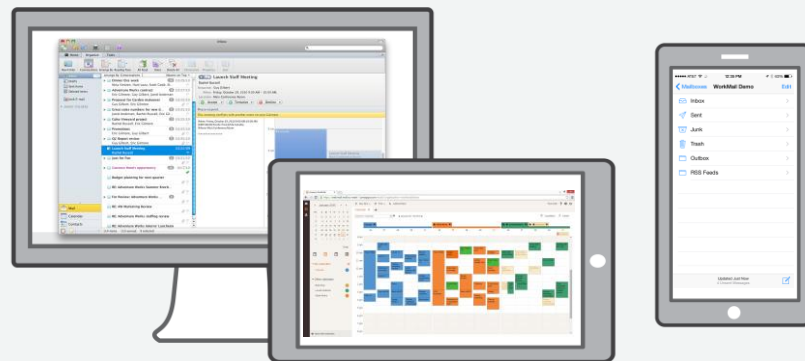
- ビデオ会議機能やチャット機能を備えたコミュニケーションツール
- PCだけでなく、モバイル端末やブラウザ経由での利用も可
- オンラインミーティングでの画面共有や並行したチャットも可能
- SIPまたはH.323に対応したビデオ会議システムとも連携化
- Active Directory ユーザーだけでなく、ゲストユーザーとしての利用も可



AWSのビジネスアプリケーション



セキュアなエンタープライズドキュメントの
ストレージおよび共有



セキュリティに優れたEメールとカレンダー

ソリューション案とベネフィット

働き方を柔軟
にすることで
本来の業務に
集中する

いつでも

常に利用可能な業務環境
amazon WorkSpaces amazon AppStream 2.0

どこでも

場所を問わない業務環境
amazon WorkSpaces amazon AppStream 2.0

誰とでも

容易なコミュニケーションと
コラボレーション
amazon Chime for business amazon WorkDocs amazon WorkMail

気軽に

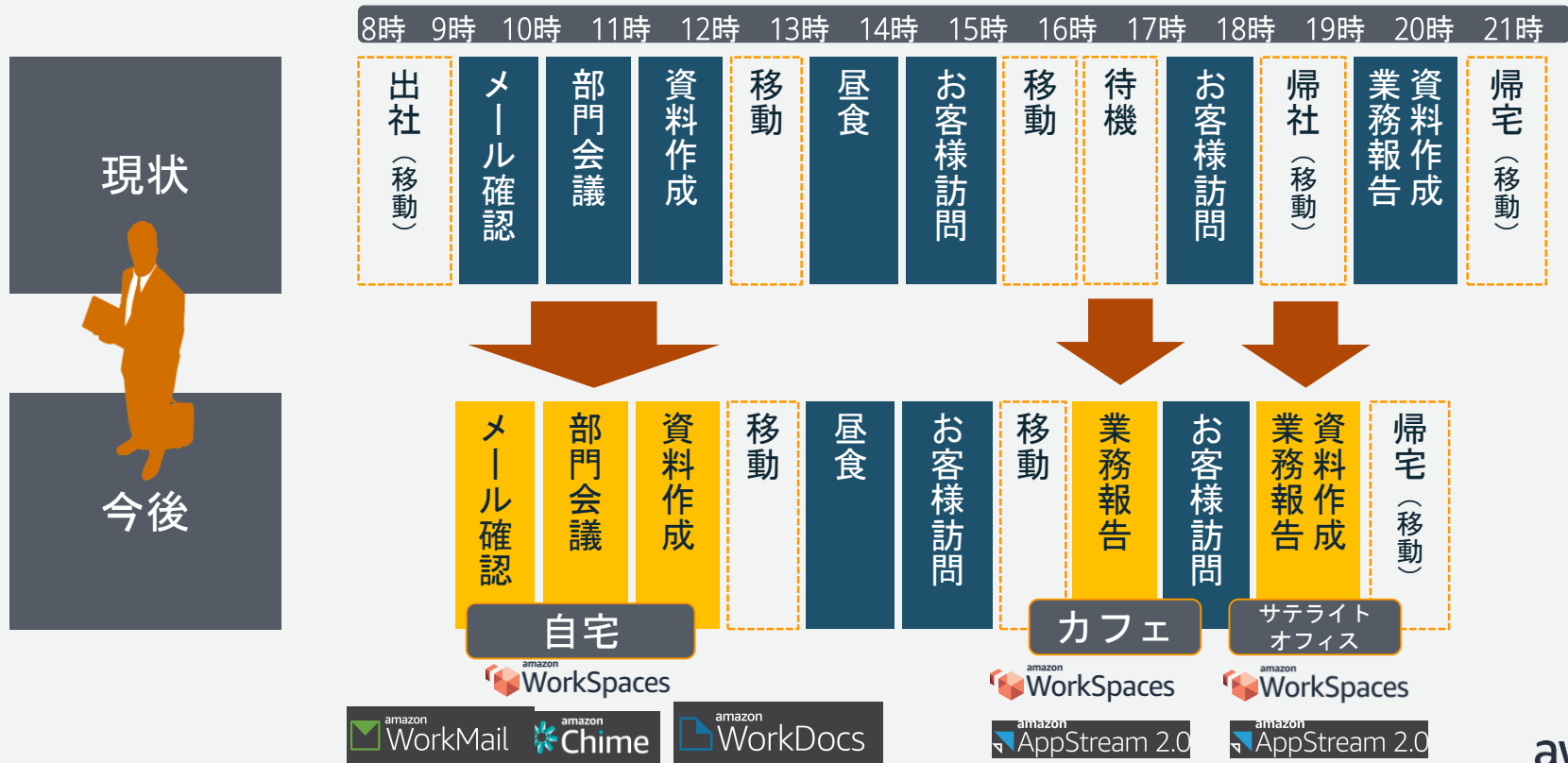
付帯業務の負荷が低減される
環境づくり
amazon for business



AWSのサービスを活用した 解決へのアプローチ

移動の多い業務における生産性の向上

1日のスケジュール



子育てとの両立の懸念払拭

1日のスケジュール

ダイバーシティ実現

6時 7時 8時 9時 10時 11時 12時 13時 14時 15時 16時 17時 18時 19時 20時 21時

現状



今後

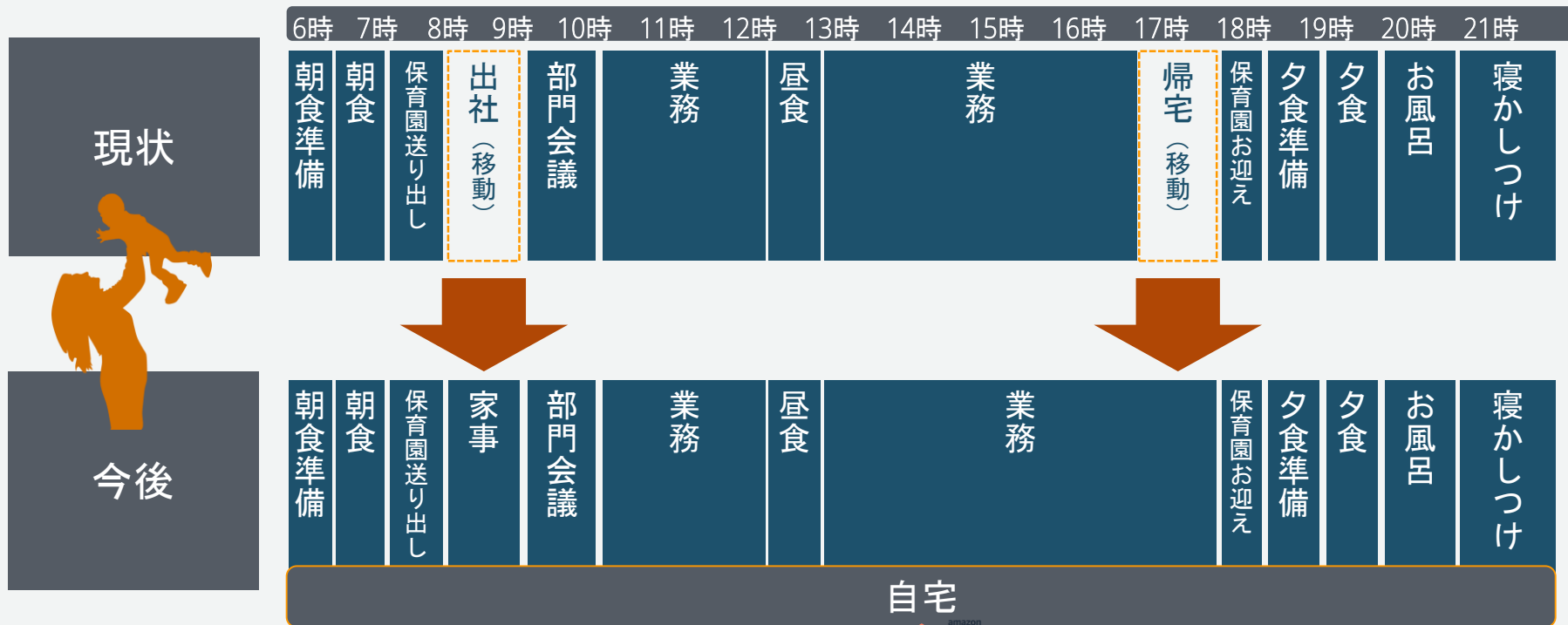


自宅

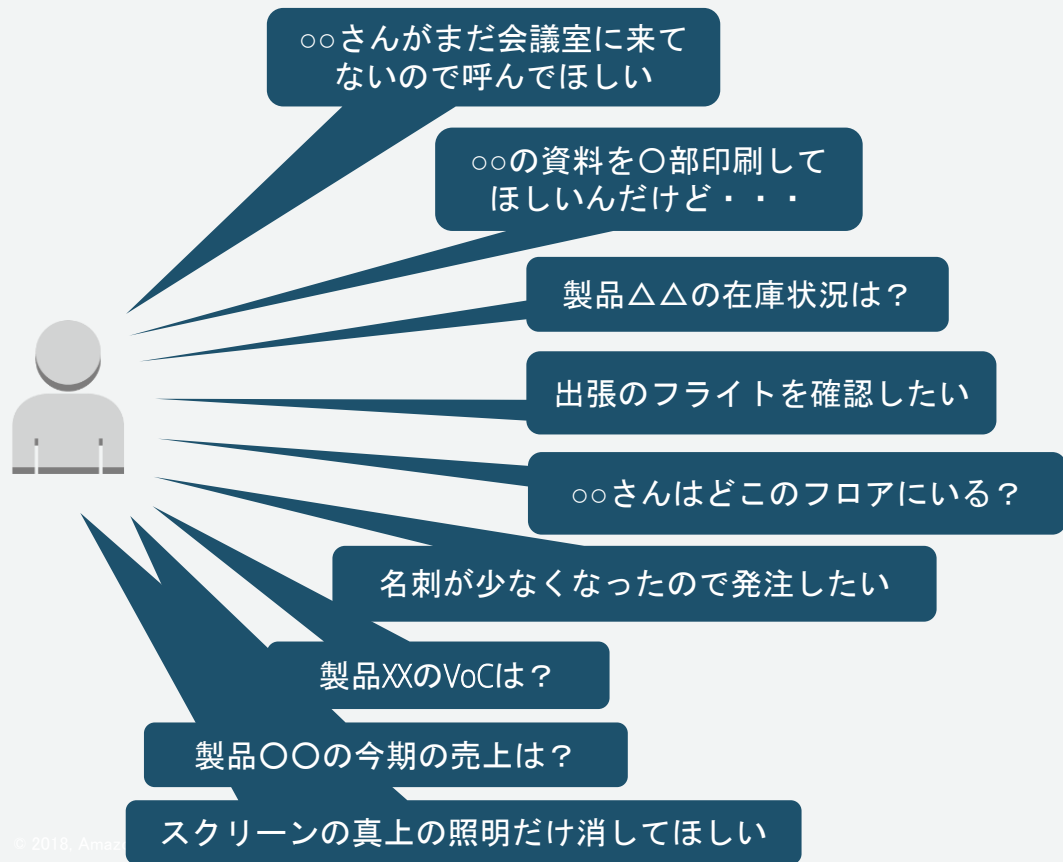


通勤時間にかける時間を家事や業務に充てる

1日のスケジュール



業務シーン - ③付帯業務の多さ



WorkSpaces事例

グローバル事例

Johnson & Johnson

24,000デスクトップをAmazon WorkSpacesへ移行

- 希望社員と契約社員16,000ユーザをBYODへ
- 既存デスクトップの8,000台のリプレースとしてゼロクライアントを導入
- 自宅PCからのアクセス

amazon.com[®]

合計20万ユーザを対象としてAmazon WorkSpacesの導入をスタート
世界各地の6リージョンにて展開中

国内Amazon WorkSpaces 事例 ①

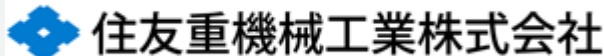
提案例：外部IT委託ベンダー向けの開発環境を提供するためにWorkSpacesを利用



この環境に移行してからは、もう以前のオンプレミスな環境には戻れないというのが正直な感想です。

「今回の導入を通して思ったのは「情シスが頑張っって何でもやる時代は終わった」ということです。」

<https://aws.amazon.com/jp/solutions/case-studies/yamaha-motor/>



社外開発者を交えてのSAP開発プロジェクト、Amazon WorkSpaces がもたらすコスト、セキュリティ、導入効果の面でのメリットは大きかったですね。オンプレミスのVDI環境ではライセンスやコストの問題は残されたままでした。

<https://aws.amazon.com/jp/solutions/case-studies/shi/>



開発者全員にAmazon WorkSpacesが割り当てられていますので、端末はBYOD(Bring Your Own Device)方式で、各自がPCを持ち込んでいます。端末は、OSを問わず、WindowsでもMacOSでもかまいません。あらゆる作業はAmazon WorkSpaces上で完結し、通信は画面転送のみのため、ローカルPCにデータが保存されることはありません。これにより、端末紛失によるセキュリティ事故を、未然に防止できます。
(サーバーワークス様事例)

<https://www.serverworks.co.jp/case/marubeni-it/>

国内Amazon WorkSpaces 事例 ②

Chromebook事例



making IT the best key

日本事務機 様

Amazon WorkSpaces + Chromebook の自社導入事例（NJC様事例）

<https://www.njc.co.jp/case/njc-ezdaas.html>



仰星監査法人

仰星監査法人様でのAmazon WorkSpaces + Chromebook の導入事例。
監査業務のために預かる顧客企業の重要情報を、安心して取り扱える仮想デスク
トップ環境をAWSで構築（TOKAIコミュニケーションズ様事例）

<https://www.aws.tokai-com.co.jp/case/gyosei.html>

Alexa for business 事例

Alexa for business をミーティングに活用した事例



wework

「私たちが作成したプライベートスキルにより、Alexa を使って、会議室の予約、コミュニティ管理チームのためのヘルプチケットの発行、会議室の状態に関する重要な情報の取得などが行えます。また、Alexa for Business を使用すると、従業員の生産性を高めるのに必要な Alexa のデバイスやスキルを簡単に設定してデプロイできます。私たちは、社内の従業員が享受しているこの快適さを、私たちの企業メンバーにも近日提供できることをとても楽しみにしています」



Vonage

「Vonage では既に企業顧客向けに Amazon Chime Pro を提供していますが、これからは Alexa for Business を使用して、たった 1 つのボイスコマンドで会議を即座に開始できるようになります。また Vonage では現在、20 の会議室において、Alexa for Business を使用して Amazon Chime 会議を始められるようになっており、2018 年には全国にある事業所にその仕組みを展開しようと考えています」



Brooks Brothers

「Brooks Brothers では既に Amazon Chime を導入しており、従業員は Amazon Chime を使用して生産的なオンライン会議を行っています。Alexa for Business の導入により、今では会議室に関係する作業の簡素化が可能になりました。『Alexa、会議を始めてください』という簡単なボイスコマンドを声に出すだけで、必要なこまごまとした作業はすべて Alexa で実行され、自動的に会議を始めることができます。Alexa for Business より、オフィス全体に Echo デバイスを簡単にデプロイし管理できるだけでなく、Amazon Chime や既存の会議室 AV/VC 機器と連動するように Echo デバイスを設定することも簡単です」



bmc

「会議をシームレスに調整するためには、社内の会議プラットフォームに Alexa for Business を導入することが欠かせません。BMC の従業員は、より生産的でパーソナライズされた環境を手に入れることができました。これは、デジタル企業にとって非常に重要なことです」

<https://aws.amazon.com/jp/alexaforbusiness/>

参考資料

- Amazon WorkSpaces
 - サービス概要
<https://aws.amazon.com/jp/workspaces/>
 - 管理者ガイド
https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/workspaces/latest/adminguide/amazon-workspaces.html
 - Amazon WorkSpaces BlackBelt
https://d1.awsstatic.com/webinars/jp/pdf/services/20180207_BlackBelt-Workspaces.pdf
 - 料金
<https://aws.amazon.com/jp/workspaces/pricing/>
- Amazon AppStream 2.0
 - サービス概要
<https://aws.amazon.com/jp/appstream2/>
 - 開発者ガイド
https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/appstream2/latest/developerguide/what-is-appstream.html
 - Amazon AppStream 2.0 BlackBelt
https://d1.awsstatic.com/webinars/jp/pdf/services/20170906_AWS-BlackBelt_AppStream20.pdf
 - 料金
<https://aws.amazon.com/jp/appstream2/pricing/>
- Alexa for Business
 - サービス概要
https://aws.amazon.com/jp/alexaforbusiness/?nc1=h_ls
 - 管理者ガイド
<https://docs.aws.amazon.com/a4b/latest/ag/what-is.html>
 - 料金
<https://aws.amazon.com/jp/alexaforbusiness/pricing/>

参考資料

- Amazon WorkMail
 - サービス概要
<https://aws.amazon.com/jp/workmail/?p=tile>
 - 管理者ガイド
https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/workmail/latest/adminguide/what_is.html
 - Amazon WorkDocs BlackBelt
https://d1.awsstatic.com/webinars/jp/pdf/services/20160224_AWS-BlackBelt-WorkDocs-WorkMail_public.pdf
 - 料金
<https://aws.amazon.com/jp/workmail/pricing/>
- Amazon Chime
 - サービス概要
<https://aws.amazon.com/jp/chime/?nc1=h Js>
 - 管理者ガイド
https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/chime/latest/ug/what-is-chime.html
 - Amazon Chime BlackBelt
https://d1.awsstatic.com/webinars/jp/pdf/services/20170308_AWS-BlackBelt-Chime.pdf
 - 料金
<https://aws.amazon.com/jp/chime/pricing/>
- Amazon WorkDocs
 - サービス概要
<https://aws.amazon.com/jp/workdocs/>
 - 管理者ガイド
https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/workdocs/latest/adminguide/what_is.html
 - Amazon WorkDocs BlackBelt
https://d1.awsstatic.com/webinars/jp/pdf/services/20160224_AWS-BlackBelt-WorkDocs-WorkMail_public.pdf
 - 料金
<https://aws.amazon.com/jp/workdocs/pricing/>

本日のまとめ

- 生産人口の減少と生産性の低下、長寿社会に適用していくために柔軟な働き方をするための環境づくりが求められています
- Amazon WorkSpacesなどを中心としたサービスを活用することで、いつでもどこでもだれとでも働くための環境づくりをすることができます
- さらに、Alexa for business の音声アシスタントは、日々の業務において発生するストレスの低減に活用することができます

Q&A

オンラインセミナー資料の配置場所

AWS クラウドサービス活用資料集

- <https://aws.amazon.com/jp/aws-jp-introduction/>

			
サービス別資料	ソリューション別資料	業種別資料	その他の資料
無料オンラインセミナー「Black Belt Online Seminar」のサービスカット資料他、AWSのTechメンバーによる各サービスの解説資料がご覧いただけます。	無料オンラインセミナー「Black Belt Online Seminar」のソリューションカット資料他、特定のソリューションについてのAWS活用方法がご覧いただけます。	無料オンラインセミナー「Black Belt Online Seminar」のインダストリーカット資料他、特定の業界のユースケースがご覧いただけます。	イベントに関する資料やアップデート情報などがご覧いただけます。

AWS Solutions Architect ブログ

- 最新の情報、セミナー中のQ&A等が掲載されています。
- <http://aws.typepad.com/sajp/>

公式Twitter/Facebook AWSの最新情報をお届けします



@awscloud_jp



検索

もしくは

<http://on.fb.me/1vR8yWm>

最新技術情報、イベント情報、お役立ち情報、
お得なキャンペーン情報などを日々更新しています！

AWSの導入、お問い合わせのご相談

AWSクラウド導入に関するご質問、お見積、資料請求をご希望のお客様は以下のリンクよりお気軽にご相談下さい。

<https://aws.amazon.com/jp/contact-us/aws-sales/>

<p>お問い合わせ</p> <hr/> <p>日本担当チームへのお問い合わせ ></p> <hr/> <p>関連リンク</p> <p>フォーラム</p> <hr/>	<h2>日本担当チームへのお問い合わせ</h2> <p>AWS クラウド導入に関するご質問、お見積り、資料請求をご希望のお客様は、以下のフォームよりお気軽にご相談ください。平日営業時間内に日本オフィス担当者よりご連絡させていただきます。</p> <p>※ご請求金額またはアカウントに関する質問はこちらからお問い合わせください。 ※Amazon.com または Kindle のサポートに問い合わせはこちらからお問い合わせください。</p> <p>アスタリスク (*) は必須情報となります。</p> <p>姓*</p> <input type="text"/> 名* <input type="text"/>
---	--

※「AWS お問い合わせ」で検索して下さい。

AWS Well Architected 個別技術相談会お知らせ

- Well Architectedフレームワークに基づく数十個の質問項目を元に、お客様がAWS上で構築するシステムに潜むリスクやその回避方法をお伝えする個別相談会です。

<https://pages.awscloud.com/well-architected-consulting-2017Q4-jp.html>

- 参加無料
- 毎週火曜・木曜開催

The screenshot shows the registration page for the AWS Well Architected consulting event. At the top, there is an AWS logo. Below it, the event title is displayed in orange: 「1, 2, 3 月開催」AWS Well Architected 個別技術相談会. The main content area is titled "AWS 上で構築するシステムのリスクの把握・回避方法をご希望のお客様" and includes a paragraph explaining the event's purpose. To the right of the text is a row of five orange icons representing different AWS Well Architected pillars: Security, Reliability, Performance, Cost, and Usability. Below the text, there is a section titled "下記のフォームよりお申込みください。" followed by a registration form with fields for "姓:" (Last Name), "名:" (First Name), and "Eメールアドレス:" (Email Address). At the bottom of the page, there is a small table with two columns: "日付" (Date) and "毎週火曜、木曜開催" (Every Tuesday, Thursday).

ご参加ありがとうございました